

性的マイノリティの子を 含めた保育に関する一考察

植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科
広瀬研究室 飯嶋夏海

性的マイノリティについて

L

レズビアン 女性の同性愛者

G

ゲイ 男性の同性愛者

B

バイセクシュアル 両性愛者

T

トランスジェンダー 生まれた時の法的、社会的性別とは違う性別で生きる人、生きたいと望む人

Q

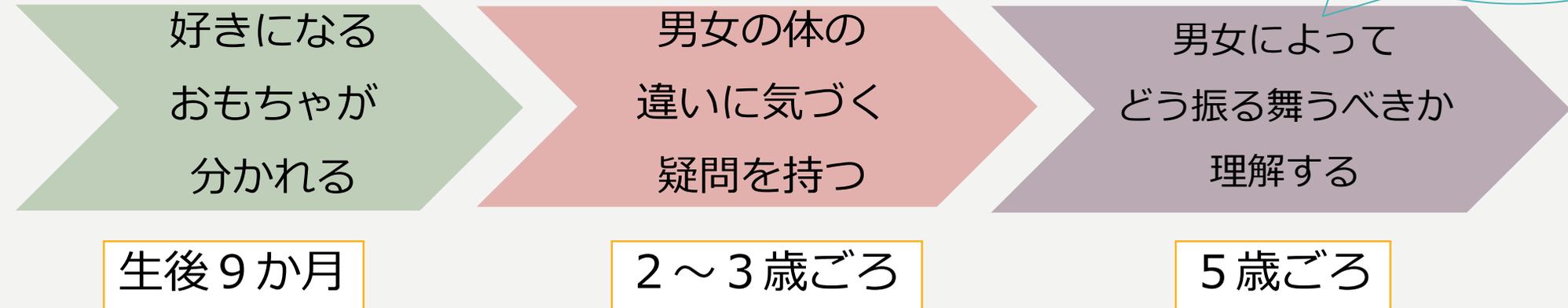
クエスチョニング 自分の性自認や性的志向が定まらない人

13人に
1人

左利きの人
と
同じ割合

性に関する発達と日本の性教育

- 乳幼児期



幼稚園教育要領、保育所保育指針、
幼保連携型認定こども園教育・保育要領では触れられていない
※市町村の教育委員会が手引きを発行している場合もある

保育中での配慮の必要性

- 性同一性障害の人が性別の違和感を自覚する時期
約57%が小学校入学以前

⇒児童生徒のための対応に関するガイドラインはあるが
幼児期の配慮に関するものはない

- 性的マイノリティの当事者の生きづらさ
不登校、自殺未遂率が非当事者よりも高い

社会の
理解が不足

- 保育所保育指針「一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ
主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれるようにする」

自分の性を肯定的に捉えられるようにしていく
配慮が必要ではないか

目的と方法

- 目的

1. 性的マイノリティの当事者の保育の場での経験
2. 保育の中で性的マイノリティへの配慮の必要性
3. 具体的に必要な配慮

以上を明らかにしていくことを目的とする。

- 方法

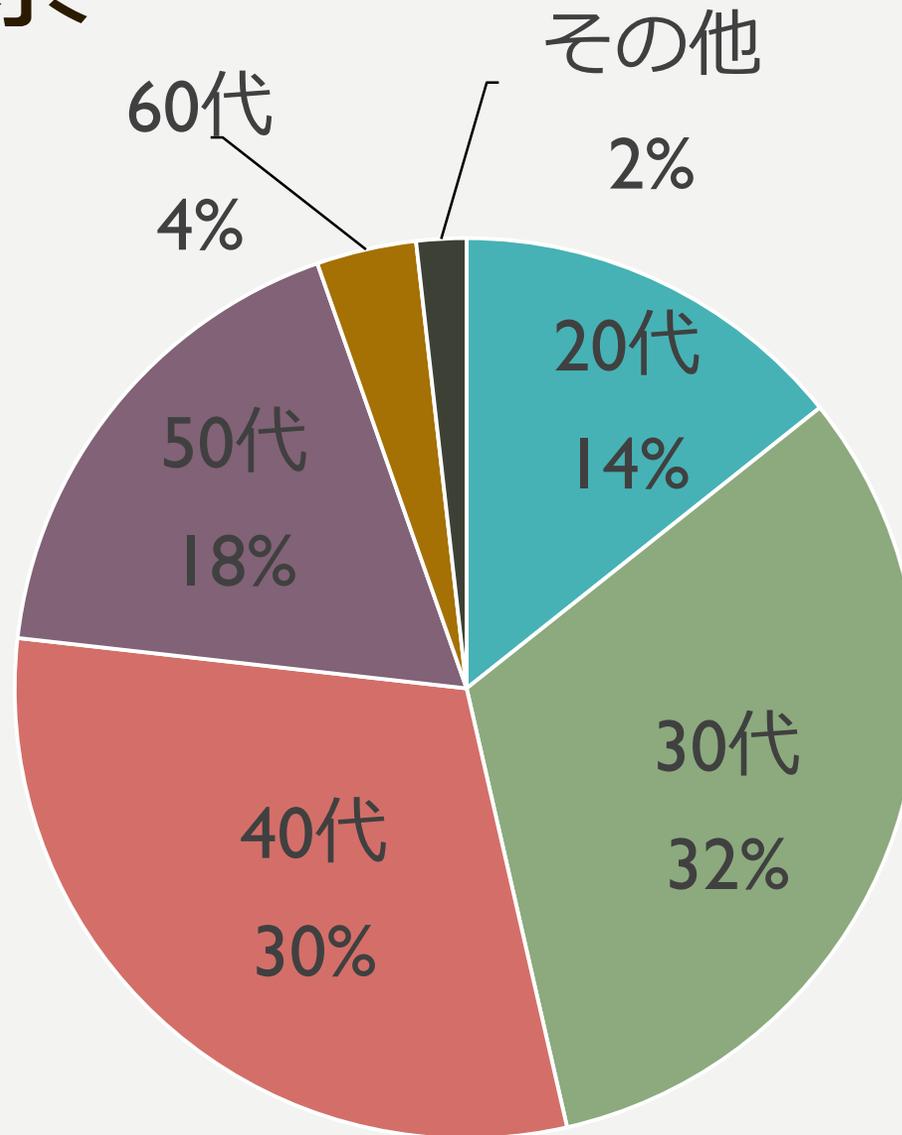
対象 : 性的マイノリティの当事者と非当事者

調査方法 : 質問紙調査、インターネットフォームによるアンケート調査

調査結果に基づき、当事者の声を含めて、保育の具体的方法や必要な配慮、課題などの考察する。

結果と考察

回答者の年齢



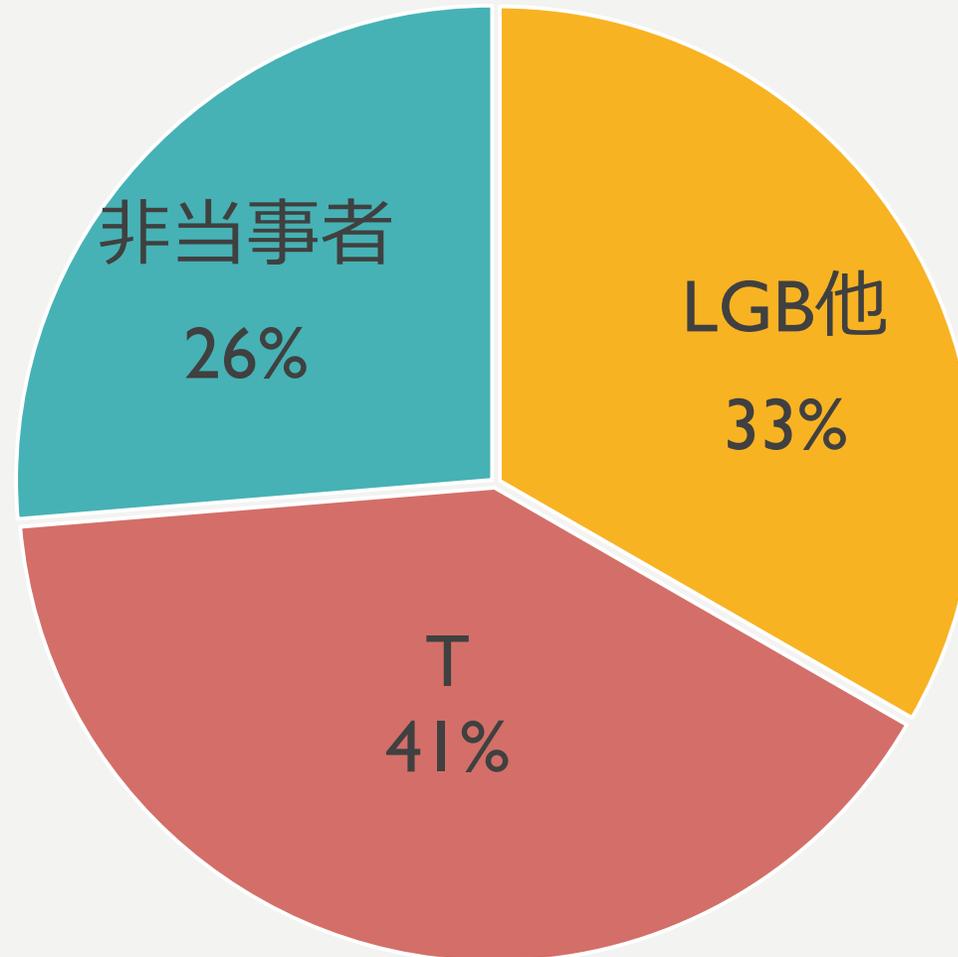
n=56

セクシュアリティについて

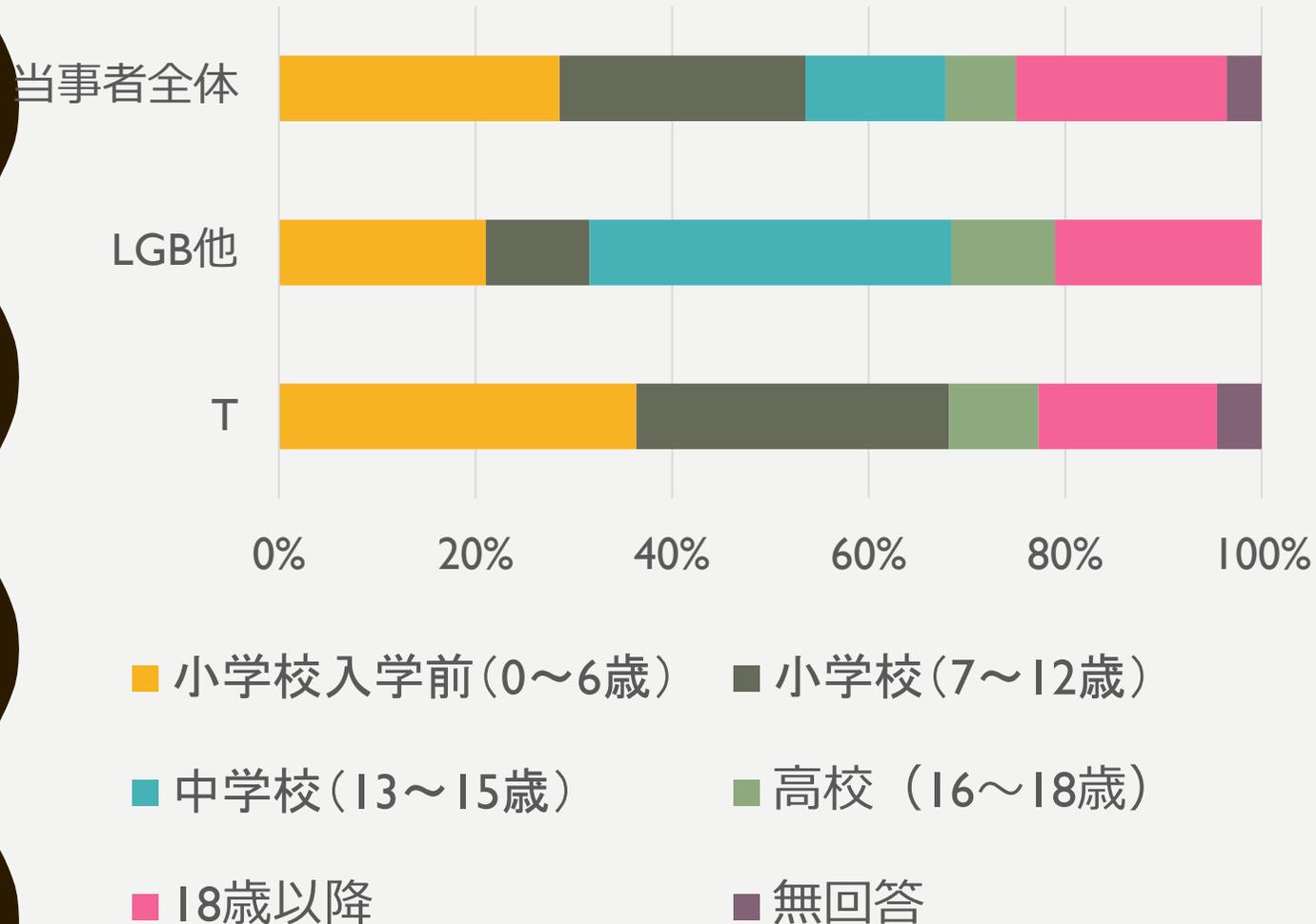
出生時 (戸籍)	性自認	性的指向	当事者／非当事者	LGB他／T／非当事者
男性	男性	女性	非当事者	非当事者
		男性	当事者	LGB他
		両性+問わない		LGB他
		該当なし		LGB他
	その他	LGB他		
	女性	全部	当事者	T
	Xジェンダー 中性	全部	当事者	T
その他	全部	当事者	T	
女性	男性	全部	当事者	T
	女性	男性	非当事者	非当事者
		女性	当事者	LGB他
		両性+問わない		LGB他
		該当なし		LGB他
	その他	LGB他		
	Xジェンダー 中性	全部	当事者	T
その他	全部	当事者	T	

回答者のセクシュアリティ

n=56

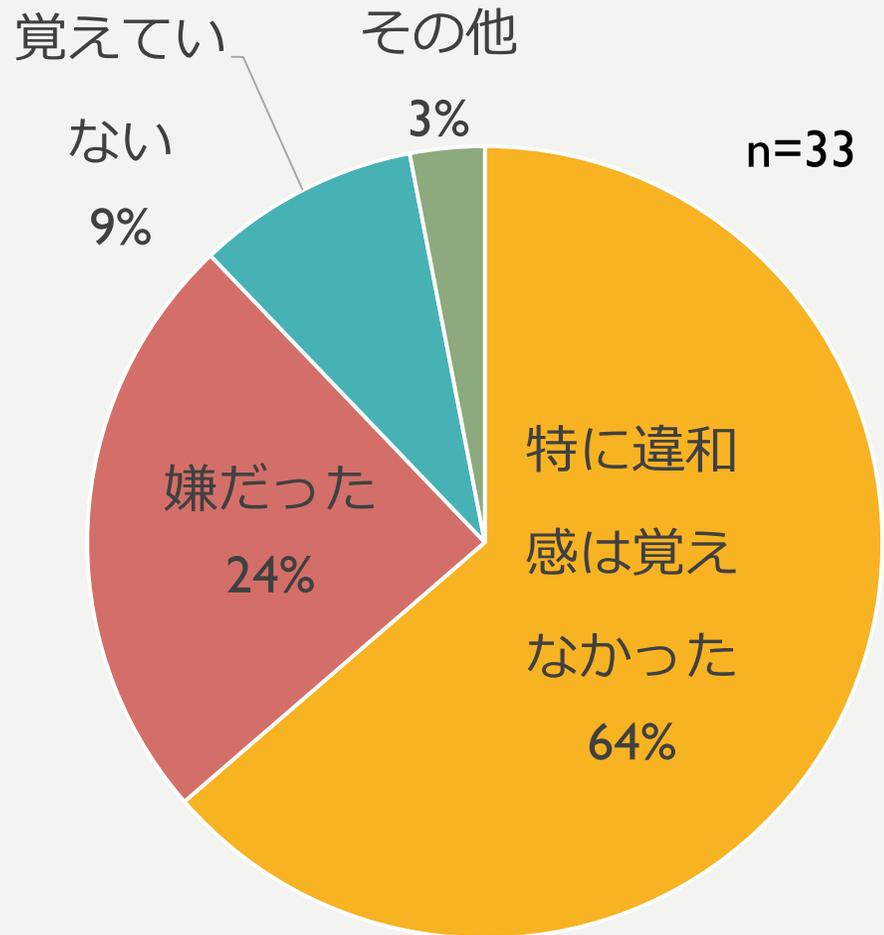


性指向や性自認を自覚した時期



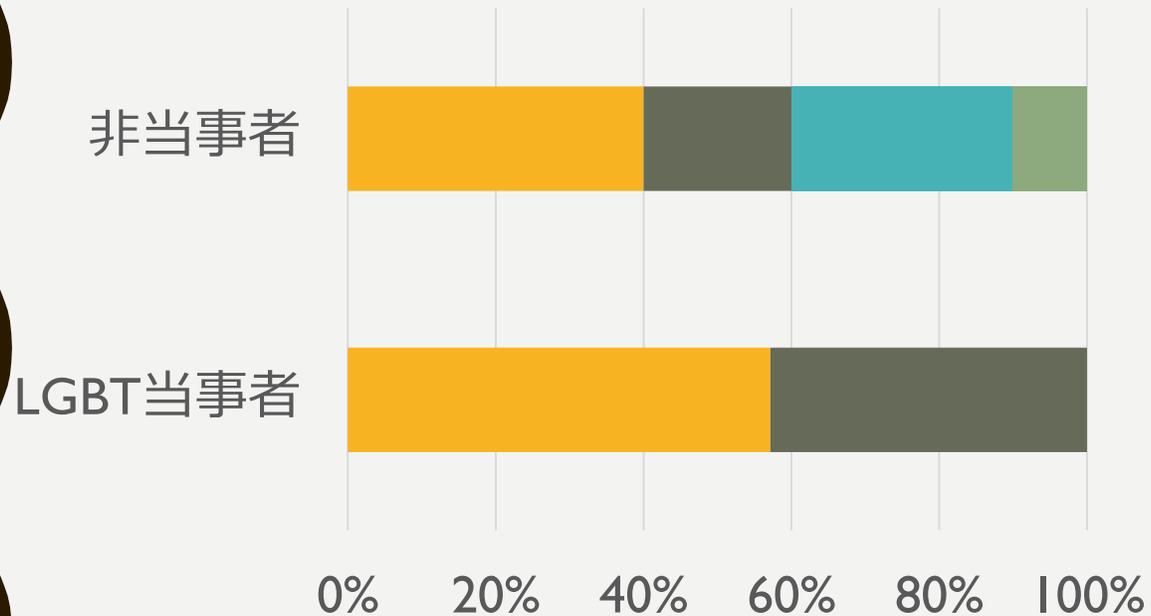
- 当事者全体
⇒30%の人が小学校入学前
- Tに該当する人
⇒35%が小学校入学前
- LGB他に該当する人
⇒21%が小学校入学前

制服についてどう感じていたか



- 当事者の約25%が嫌だったと回答

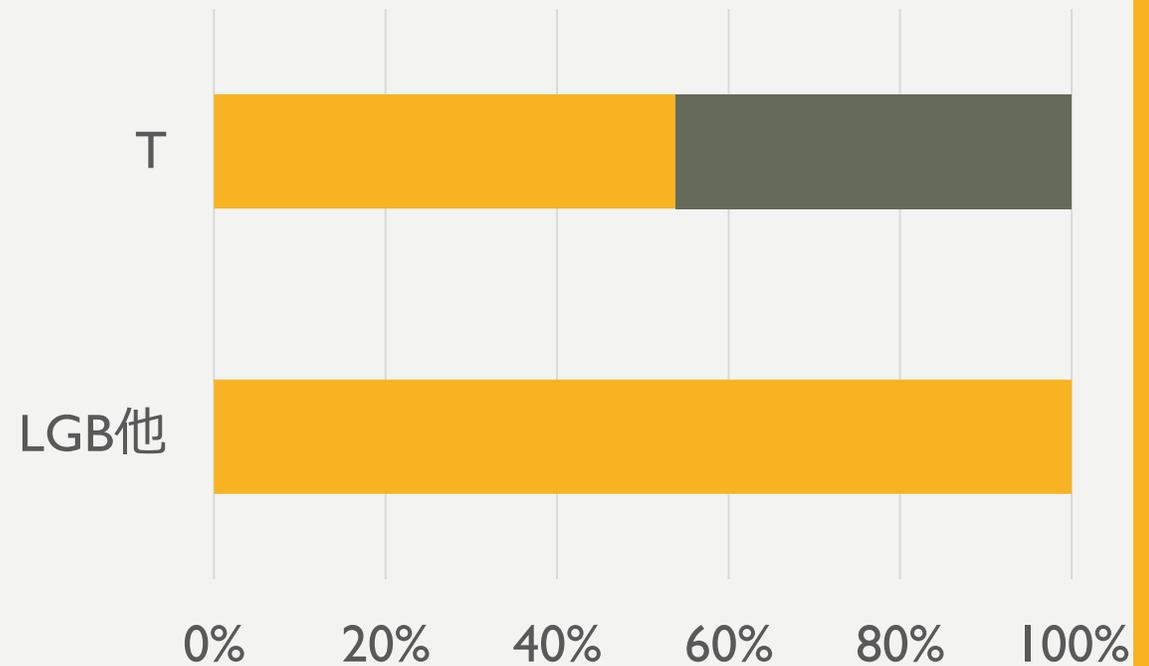
非当事者と当事者の比較



n=24

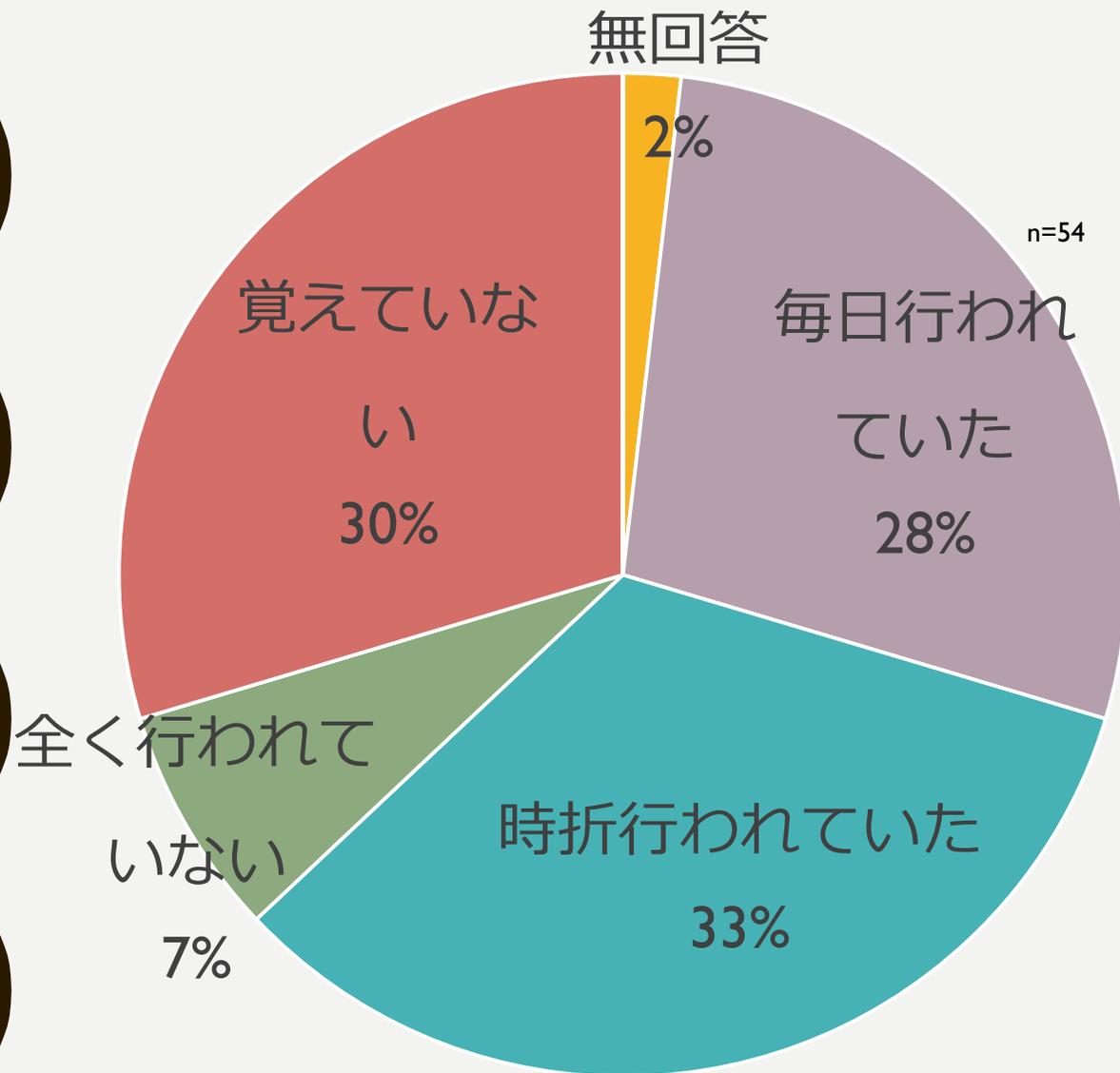
- 特に違和感は覚えなかった
- 嫌だった
- 覚えていない
- その他

Tに該当する方とLGB他に該当する方の比較



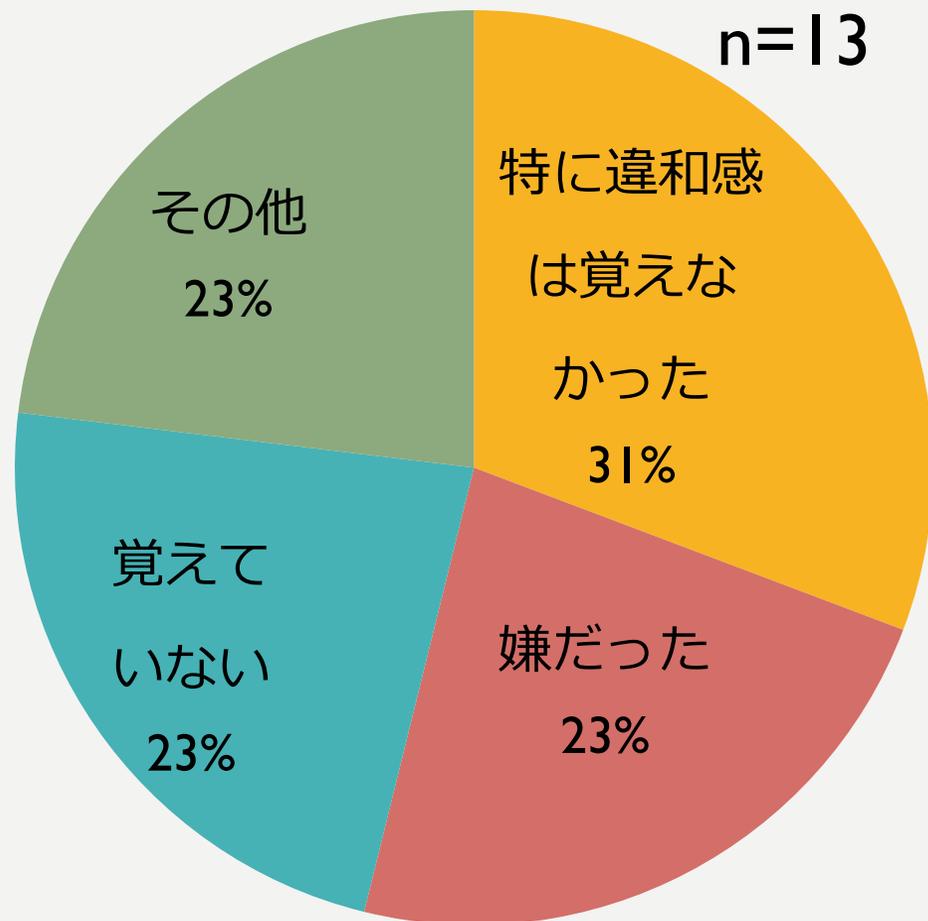
- 特に違和感は覚えなかった
- 嫌だった
- 覚えていない
- その他

性別によるグルーピング



- 61%の人が保育の中で性別によるグルーピングが行われていたと回答

グルーピングへの意見



- グルーピングが行われていた一部の
人

「嫌だった」 23%

「その他（自由記述）」 23%



合わせて46%がネガティブな印象

行事や日常生活で嫌だったこと

日常生活

男女の固定概念
(5)(T=5)

保育内容
(3)(T=1,LGB他=1,非=1)

いじめ
(2)(T=1,LGB他=1)

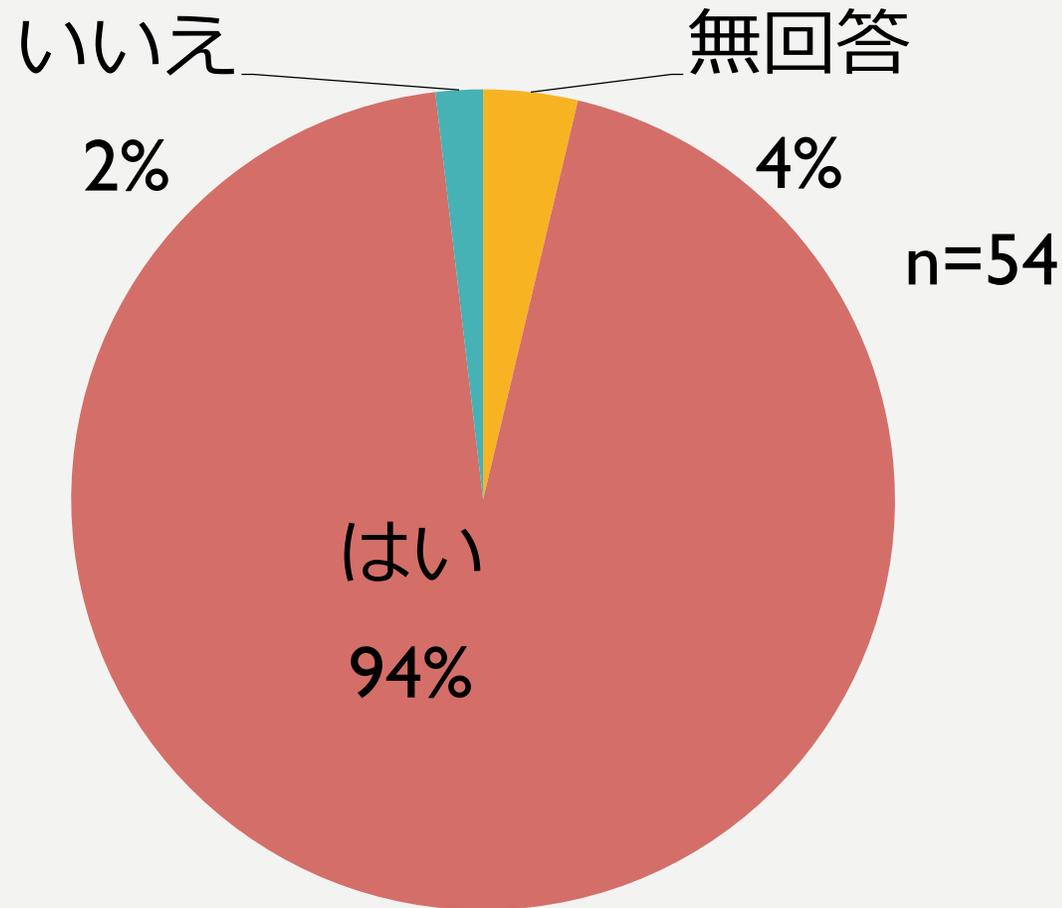
行事

服装に関すること
(5)(T=5)

性別に関すること
(2)(T=2)

行事そのもの
(9)(T=1,LGB他=2,非=1)

乳幼児期から性的マイノリティへの配慮は必要だと思うか



ほとんどの人が
配慮が必要だと回答

必要だと思う配慮

日常生活

保育者
園の意識

(21)(T=13,LGB他=3,非=5)

保育者の
知識・関心

(3)(T=2,非=1)

保育展開上のより
具体的な配慮

(27)(T=12,LGB他=10,非=5)

行事

子どもの
意思の尊重

(10)(T=3,LGB他=4,非=3)

男女で分けない

(10)(T=5,LGB他=3,非=2)

男女の
固定概念をなくす

(7)(T=6,LGB他=1)

総合考察

(1) 現状と配慮の必要性

- 当事者の多くが保育の場でネガティブな経験、配慮の必要性を感じている。

⇒背景に、保育者のジェンダー観が保育で多く影響している。
性的マイノリティの知識不足が考えられる。

そもそも保育者の知識や意識を増やしていくことが必要

総合考察

(2) 具体的に必要な配慮

- 男女別の制服やグルーピングの必要性の見直し
- 行事や遊びの中で性別によってのイメージで参加を分けない
性別による決めつけをしない
- 性についてだけでなく、生き方の多様性を伝えていく

性別による「決めつけ」をせずに
子どもが自由に選択できるようにしていく

参考・引用文献

- ・日経ビジネス あなたの性は何ですか？
<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/opinion/15/221102/082600052/> (2018/12/05閲覧)
- ・千葉県男女共同参画センター情報誌 みらい Vol.32
- ・横須賀市ホームページ 性的マイノリティって知っている？
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2420/seitekimainoritehanai.htm> (2018/12/05閲覧)
- ・LGBTラボ 「LGBTQ」のQって何？
[Rainbow-japan.site/whatisq/](http://rainbow-japan.site/whatisq/) (2018/12/05閲覧)
- ・Rainbow Life 日本におけるLGBTの割合～13人に1人!?左利き・AB型と同じ割合!?～
<https://lgbt-life.com/topics/lgbtinjapan/> (2018/12/05閲覧)
- ・小野敏子、野田洋子、荒木こずえ、増田美恵子 (2009) 幼児期における性教育に関する幼稚園教諭の認識 川崎市立看護短期大学紀要14(1),55-61
- ・林 康文 長田久雄 (2008) ころとからだのしくみ 発達と老化の理解 25-26 メジカルフレンド社
- ・島根県 性に関する指導の手引
<http://www.pref.shimane.lg.jp/hokentaiku/kenkousuisin/situ-index.data/seitebiki.pdf> (2018/12/05閲覧)
- ・札幌市教育委員会 発達の段階に応じた性に関する指導の目標及び指導内容
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/seikyoiku/guide/> (2018/12/05閲覧)
- ・永田麻詠 (2012) pp5-9保育における性的マイノリティとクィア—子どもと性をめぐる今日的課題— 子ども未来学研究 (7), 5-9 梅光学院大学子ども学部
- ・二宮周平 (2017) 「性のあり方の多様性 一人ひとりのセクシュアリティが大切にされる社会を目指して」 日本評論社
- ・LGBT当事者アンケート調査 www.nhk.or.jp/d-navi/link/lgbt/index.html (2018/12/05閲覧)

ご清聴ありがとうございました

